

資本の循環(財務、製造、知的、人的、社会・関係、自然)

長期ビジョン(2035年度に目指す将来像)

日本全国、そして世界とつながり、日本発展の原動力である品川・羽田・横浜を成長トライアングルゾーンと位置付け、国内外の多くの人々の生活と交流を支え、持続的に発展する豊かな沿線を実現する

交通

- 事業エリア・沿線における浸透
- 主要ターミナル、生活拠点へのアクセス
- 鉄道、バス、タクシーなど複数事業の展開
- 運行のパフォーマンス(安全・安心など)

まちづくり

- 交通事業を通した圧倒的な信頼
- 地域密着、地元や行政との良好な関係
- 国際拠点、羽田空港への利便性
- 都心部のほか、良好な住環境・自然環境を有する沿線の多様な魅力
- 駅周辺に収益性の高い不動産を保有
- 長期的な視点で展開してきたまちづくりの経験

複合事業による総合力

- 移動、衣食住の事業を複合的に実施
- ブランド浸透により、1つの事業の顧客を他の事業に誘引

経営基盤としての強み

- ブランド
- 人財の能力
- 運行ノウハウ
- 固定資産
- 恵まれた事業エリア

外部環境

リスク・機会

強み
(インプット)

エリア戦略 × 事業戦略

コーポレート
サステナブル戦略

地域社会および京急グループの持続的発展に向け、ESGへの取り組みを経営のベースと位置付ける

長期経営戦略に基づく
2つのプラットフォーム事業

移動
プラット
フォーム
まち創造
プラット
フォーム

重要課題
への対応
(マテリアリティ)
長期経営戦略・
中期経営計画

- 気候変動への対応
- 循環型社会の推進
- 生物多様性の保全
- 魅力的で働きやすい職場環境
- ダイバーシティ&インクルージョン・人財開発
- 地域社会の発展と共生
- 安全・安心・快適なサービスの提供
- ビジネスモデルのレジリエンス
- 透明性の高い情報開示
- DXの推進

移動サービスの利便性向上

衣食住
サービスの質・
アクセスの向上

環境社会に配慮した事業展開

アウトプット

KPI(重要業績評価指標)

- 財務指標水準(2023年度): 営業利益 約230億円
- 純有利子負債/EBITDA倍率 8倍以下
- ESG経営の取り組みに関する目標の達成

移動、衣食住
サービスを通じた
生活の豊かさの向上
への貢献

地域特性を
活かした沿線
地域の発展

社会的価値の
向上
(アウトカム)

自然環境
との共生

働きやすい
社会の実現